

平成26年度事業報告書

〔 平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

平成 26 年度 事業報告書

1 概要

当社は、下水道公社定款に基づき、流域下水道及び流域関連公共下水道の維持管理に関する業務のほか、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究を行い、県及び市町の下水道事業に協力し、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行いました。

事業の実施にあたっては、「公益財団法人神奈川県下水道公社第 5 期経営改善計画」に基づき、効率的な運営に努めると共に、より一層の経費の削減に取り組みました。

2 受託事業

神奈川県が設置する流域下水道の処理施設の運転操作等維持管理業務及び流域関連公共下水道の水質分析等技術的業務を受託し、創意と工夫をもって主体的に業務に取り組、県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、次の事業を行いました。

(1) 流域下水道の下水処理等維持管理事業

神奈川県から相模川及び酒匂川流域下水道の下水処理等維持管理業務を受託し、流域関連市町からの流入下水を適正に処理し、下水処理場施設、幹線管渠及び関連するポンプ場など、処理場施設の維持管理を行うほか、県民に下水道の役割などを理解していただくための広報活動などを行いました。

また、扇町管理センターに平成 26 年度から 5 年間の包括的民間委託を導入しました。

ア 主な維持管理施設等の概要

平成 26 年度に県から受託した主な下水道維持管理施設等は、次表のとおりです。

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

処理場 施設・設備	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
敷地面積 (ha)	26.9	19.6	9.8	7.0
水処理施設 (系列数) (m ³) 施設能力 (日最大)	6 系列 322,800	9 系列 539,100	3 系列 108,000	2 系列 56,480

処理場 施設・設備	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
汚泥脱水設備	ベルト 4 台 遠心 2 台 スクリュ-1 台	ベルト 1 台 遠心 3 台 ロータリー1 台 スクリュ-2 台	スクリュ 4 台	ベルト 2 台
汚泥焼却設備 (日最大能力 計)	4 基 (380 t/日)	4 基 (660 t/日)	2 基 (90 t/日)	2 基 (60 t/日)
管渠 (流域幹線)	37,960m	89,470m	26,920m	19,340m
ポンプ場	2 箇所	6 箇所	1 箇所	—
上部利用施設	四之宮ふれあい 広場 5.25 ha	柳島しおさい 広場 7.0 ha	酒匂きらり 広場 1.3 ha	扇町しらさぎ 広場 1.2 ha

(注) 汚泥脱水設備の「ベルト」はベルトプレス、「スクリュ-」はスクリュ-プレス、「ロータリー」はロータリープレス

イ 下水処理

(ア) 流入下水道

平成 26 年度の相模川及び酒匂川流域下水道の流入下水道量は、次表のとおりです。

流 域	下水処理場 (管理センター)	流入下水道量 (m ³)		増減 (前年比%)
		平成 26 年度 実績	平成 25 年度 実績	
相模川	四之宮	85,850,000 (235,210)	84,835,130 (232,430)	1,014,870 (101%)
	柳 島	148,956,720 (408,100)	148,413,040 (406,610)	543,680 (100%)
	相模川計	234,806,720 (643,310)	233,248,170 (639,040)	1,558,550 (101%)
酒匂川	酒 匂	20,110,160 (55,100)	19,235,430 (52,700)	874,730 (105%)
	扇 町	15,488,760 (42,430)	16,504,720 (45,220)	△1,015,960 (94%)
	酒匂川計	35,598,920 (97,530)	35,740,150 (97,920)	△141,230 (100%)
合 計		270,405,640 (740,840)	268,988,320 (736,960)	1,417,320 (101%)

(注) 流入下水道量は年間の数量で、() 内の数字は日平均水量を示す。

(イ) 流入水及び放流水の水質測定結果

流入下水を処理するにあたっては、標準活性汚泥法により適切に処理し、全て法で定める排水基準値以内で処理することができました。

① 相模川流域下水道水質測定結果

主な項目		処理場		柳島		水質汚濁防止法 排水基準 (許容限度)
		四之宮	柳島	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	180	3.5	180	3.2	四之宮 20 (25) 柳島 (25)
	最大	210	5.3	200	4.4	
	最小	160	2.2	150	2.4	
COD (mg/L)	平均	94	8.8	100	9.0	四之宮 (25) 柳島 20 (25)
	最大	100	9.6	110	9.5	
	最小	86	8.0	91	7.8	
SS (mg/L)	平均	188	2.0	209	2.8	50 (70)
	最大	232	3.2	233	4.9	
	最小	156	1.0	184	1.6	
pH	平均	7.3	6.6	7.4	6.6	5.8~8.6
	最大	7.4	6.7	7.5	6.7	
	最小	7.1	6.6	7.2	6.6	
大腸菌群数 (個/c m ³)	平均	36 万	62	44 万	150	(3,000)
	最大	70 万	150	94 万	330	
	最小	16 万	10	15 万	38	

(注)・BOD は生物化学的酸素要求量、COD は化学的酸素要求量、SS は浮遊物質、pH は水素イオン濃度（水素指数）を表す。

・排水基準は、水質汚濁防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準値で、() は、最大値を示す。

② 酒匂川流域下水道水質測定結果

主な項目		酒匂		扇町		水質汚濁防止法 排水基準 (許容限度)
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	150	2.2	130	3.7	20 (25)
	最大	170	3.0	160	5.4	
	最小	120	1.3	100	2.5	
COD (mg/L)	平均	87	8.5	81	11	(25)
	最大	93	10	94	12	
	最小	78	7.1	68	10	
SS (mg/L)	平均	167	1.4	143	3.3	50 (70)
	最大	185	3.7	169	5.0	
	最小	146	1.0未満	117	2.1	
pH	平均	7.5	6.6	7.4	6.9	5.8~8.6
	最大	7.6	6.8	7.5	7.0	
	最小	7.3	6.5	7.3	6.8	
大腸菌群数 (個/c m ³)	平均	15万	37	30万	360	(3,000)
	最大	32万	110	99万	860	
	最小	7.2万	2	4.1万	37	

(注) 相模川流域下水道の注記に同じ

ウ 汚泥処理

(ア) 汚泥等発生量

発生した汚泥等は、全量焼却処理しました。

流域	下水処理場 (管理センター)	汚泥等発生量 (t/年)		増減 (前年比%)
		平成 26 年度 実績	平成 25 年度 実績	
相模川	四之宮	53,701	53,347	354 (101%)
	柳 島	124,421	120,188	4,233 (104%)
	相模川計	178,122	173,535	4,587 (103%)
酒匂川	酒 匂	18,502	18,788	△286 (98%)
	扇 町	8,955	9,652	△697 (93%)
	酒匂川計	27,457	28,440	△983 (97%)
合 計		205,579	201,975	3,604 (102%)

(イ) 焼却灰等処分量

焼却処理により発生した焼却灰等は、全量資源として有効利用しました。

流域	下水処理場 (管理センター)	焼却灰等処分量 (t/年)		増減 (前年比%)
		平成 26 年度 実績	平成 25 年度 実績	
相模川	四之宮	1,945	1,916	29 (102%)
	柳 島	5,146	4,744	402 (108%)
	相模川計	7,091	6,660	431 (106%)
酒匂川	酒 匂	534	496	38 (108%)
	扇 町	221	210	11 (105%)
	酒匂川計	755	706	49 (107%)
合 計		7,846 〔①3,627 ②3,379 ③840〕	7,366 〔①3,667 ②2,443 ③1,256〕	480 (107%)

(注)・合計欄の () は合計数量の内訳で、①は乾灰、②は加湿灰、③は焼却沈砂を表す。

・上記には、保管中の焼却灰を含む。

エ 放射能対策

放流水や焼却灰等（保管中の灰も含む）の放射能濃度や上部利用施設、処理場敷地境界線等での放射線量の測定を実施し、状況の把握に努めるとともに適正な管理を行いました。

また、保管中の焼却灰等の減量に努めました。

オ 機器設備等の管理

処理場に設置されている機器設備は、当社の精密点検・設備補修基準に基づき点検・補修工事を行い、効率的で緻密な管理を行いました。

機器・設備の状態を把握し、老朽化が進む施設・設備については、健全度診断や施設台帳の整備に取り組んでいます。

カ 危機管理体制の強化

事故や災害発生時の様々なリスクを想定し、被害を最小にして処理が継続できる体制の強化に取り組んでいます。

キ 環境対策

放流水質の安全性及び処理場周辺への臭気の影響を調査するとともに、焼却炉排ガス測定調査を実施し環境保護に努めました。

また、水質試験室及び焼却施設の作業環境測定を行い、下水処理業務に従事する従業員の作業環境の向上に努めました。

(ア) 環境保護

① クリプトスポリジウム測定調査

人体に影響を及ぼす恐れのあるクリプトスポリジウムについて、流入水及び放流水を調査した結果、含まれていないことが確認されました。

② 敷地境界線等臭気測定調査

処理場周辺の臭気調査を行い、施設の健全なる管理に努めました。

<敷地境界等臭気調査結果>

流域	下水処理場 (管理センター)	調査地点数	臭気指数 (最小～最大)	悪臭防止法 規制基準値
相模川	四之宮	7 地点	10 未満～12	15
	柳 島	4 地点	10 未満	15
酒匂川	酒 匂	4 地点	10 未満	15
	扇 町	4 地点	10 未満	15

(注) 臭気指数の「10 未満」は定量下限値未満を表す。

③ 焼却炉排ガス等測定調査

大気汚染防止法に基づき調査を行い、法令を遵守していることを確認しました。

(イ) 作業環境の向上

① 水質試験室作業環境測定

水質分析時に有機溶剤を取り扱うため、年 2 回実験室内の作業環境を測定し、「適切」な作業環境であることを確認しました。

② 焼却施設作業環境測定

焼却炉点検作業時及び焼却灰の搬出作業時に、ダイオキシン類によるばく露防止を図るため、ダイオキシン類に係る作業環境測定を実施し、その測定結果に基づき適正な保護具を選定して作業員のばく露防止に努めました。

ク 普及啓発

下水道の大切さや必要性を理解していただくとともに、親しまれる下水道となるよう、次の事業を実施しました。

(ア) 施設見学の案内

処理場施設の案内とともに、当公社が作成したパワーポイントを活用して神奈川県の流域下水道の現況や下水道の役割などを説明しました。

<処理場施設見学者内訳>

(人)

流域	下水処理場 (管理センター)	行政 機関	学生		一般 県民	団体	計
			小学生	その他			
相模川	四之宮	53 (136)	270 (141)	37 (100)	29 (22)	76 (104)	465 (503)
	柳 島	77 (232)	750 (1,169)	201 (0)	44 (162)	115 (0)	1,187 (1,563)
酒匂川	酒 匂	35 (41)	365 (242)	50 (12)	48 (25)	7 (0)	505 (320)
	扇 町	4 (0)	83 (7)	22 (21)	11 (4)	8 (0)	128 (32)
合 計		169 (409)	1,468 (1,559)	310 (133)	132 (213)	206 (104)	2,285 (2,418)

(注) () は、前年度の見学者数

(イ) 「下水道ふれあいまつり」の開催

処理場内の上部利用施設を活用して、地元自治会や地元業者等と協働し、地元住民の演奏・踊り、ゲーム・模擬店、下水道学習室や処理場施設見学などを行いました。

<下水道ふれあいまつり開催結果>

開催年月日	平成 26 年 10 月 18 日 (土)	
主催・共催	主催 神奈川県、下水道公社 共催 相模川及び酒匂川流域関連市町	
開催場所 ・来場者数	相模川流域 柳島管理センター (柳島しおさい広場)	1,422 人 (四之宮 : 215 人)
	酒匂川流域 酒匂管理センター (酒匂きらり広場)	1,081 人 (扇町 : 266 人)
	計	2,503 人 (481 人)

(注)・来場者数の () は、前年度の実績。

・平成 25 年度は雨天のため規模を縮小して実施。

(ウ) パンフレット等の配布 [県民向け]

下水道のしくみや情報を分かりやすくまとめたパンフレットや広報紙を配布しました。

(エ) ホームページ

下水道の仕組み・維持管理情報など公社業務内容の情報のほか、広場の施設案内など、ホームページの工夫や内容の充実を図りました。

<主なメニューの内容>

- ・下水道の維持管理 (処理場の運転管理、下水道管渠の維持管理、水質分析結果 等)
- ・下水道のしくみ (下水道の役割・しくみ、下水道使用上のお願い、下水道 Q&A 等)
- ・イベント (下水道ふれあいまつり、下水道作品コンクール、下水道教室 等)
- ・お知らせ (広場の紹介、下水処理場の紹介、下水処理場施設見学の申込 等)
- ・公社情報 (公社の情報提供資料)
- ・入札情報 (入札予定、入札公告、入札結果、入札要領等、積算資料等、様式 等)

ケ 上部利用施設利用状況

各処理場の水処理施設上部に設置されている広場の利用状況は次のとおりでした。

< 上部利用施設利用状況 >

(人)

流域	下水処理場 (管理センター)	施設名	利用者数	備考
相模川	四之宮	四之宮ふれあい広場	56,849 (53,469)	多目的広場、テニスコート (6面)、フットサルコート (1面) ほか
	柳島	柳島しおさい広場	64,955 (65,499)	多目的広場、テニスコート (4面)、少年サッカーコート (1面)、親水池 ほか
酒匂川	酒匂	酒匂きらり広場	19,199 (20,857)	多目的広場、遊び広場、 お花見広場、噴水池 ほか
	扇町	扇町しらさぎ広場	39,232 (28,495)	芝生広場、ちびっこ広場、 遊具広場、軽運動広場、 噴水池 ほか
計			180,235 (168,320)	

(注) () は、前年度の利用者数

コ 水質規制支援業務

公社の技術・ノウハウを活かし、流域関連市町が行う特定事業場等の監視・指導業務を支援しました。

また、知識・技術の向上等を目的とした研修会を開催しました。

(ア) 研修会の開催

a 水質規制担当者特別研修会

< 水質規制担当者特別研修会実施状況 >

開催日	平成 26 年 11 月 21 日 (金)
開催場所	東京都下水道技術実習センター
対象者	県及び流域関連市町の水質規制担当職員
受講者数	17 名
内容	(1) 事業場排水処理実習 (2) 屋外施設見学 (人孔モデル、水処理実験モデル他)

b 事業場排水担当者研修会

<事業場排水担当者研修会実施状況>

開催日	平成 26 年 11 月 14 日 (金)
開催場所	相模原市ウェルネス相模原
対象者	相模原市事業場排水処理担当者
受講者数	23 名
内 容	(1) 下水処理場の処理について (2) 下水処理場の維持管理 (水質管理) について (3) 最近の下水道法の改正等について (4) 特定事業場の指導事例について

(イ) 水質規制技術支援業務 (アシスト下水道)

流域関連市町が行う施設立入検査への技術支援や水質異常時の原因究明調査など、技術支援を行いました。

<技術支援業務実施状況>

流域名	水質分析等	立入同行	相談・提案等	施設検査	合計
相模川	20	1	15	3	39
酒匂川	14	0	6	4	24
合計	34	1	21	7	63

(ウ) パンフレットの配布 [事業者向け]

公共下水道を使用する事業者向けに、水質基準や届出等をわかりやすく説明したパンフレットを流域関連市町に配布しました。

(2) 下水道の水質分析等受託事業

相模川及び酒匂川流域に関連する市町から特定事業場の下水の水質分析を受託しました。

<特定事業場等水質調査業務受託概要>

区分 流域	受託市町数			調査箇所数			水質分析数		
	実績 A	前年 B	差異 A-B	実績 A	前年 B	差異 A-B	実績 A	前年 B	差異 A-B
相模川流域 関連市町	9	9	0	137	149	△12	9,949	10,731	△782
酒匂川流域 関連市町	6	6	0	40	42	△2	3,657	3,965	△308
計	15	15	0	177	191	△14	13,606	14,696	△1,090

3 自主事業

当社は、下水道事業に対する理解と関心を深めていただくとともに、下水道関係者の知識や技術力の向上を目的に下水道知識の普及・啓発活動及び下水道の研修を行い、また、汚水・汚泥の処理方法についての調査研究により維持管理技術の向上と運営の効率化を図るため、次の事業を行いました。

(1) 下水道知識普及啓発事業

ア 「下水道ふれあいまつり」の開催 (P8 ク 普及啓発(イ)の再掲)

処理場内の上部利用施設を活用して、地元自治会や地元業者等と協働し、地元住民の演奏・踊り、ゲーム・模擬店、下水道学習室や処理場施設見学などを行いました。

<下水道ふれあいまつり開催結果>

開催年月日	平成 26 年 10 月 18 日 (土)	
主催・共催	主催 神奈川県、下水道公社 共催 相模川及び酒匂川流域関連市町	
開催場所 ・来場者数	相模川流域 柳島管理センター (柳島しおさい広場)	1,422 人 (四之宮 : 215 人)
	酒匂川流域 酒匂管理センター (酒匂きらり広場)	1,081 人 (扇町 : 266 人)
	計	2,503 人 (481 人)

(注)・来場者数の () は、前年度の実績。

・平成 25 年度は雨天のため規模を縮小して実施。

イ 下水道作品コンクールの実施

将来を担う子供達に下水道に対する関心を深めることを目的として、流域関連 21 市町の小学校 4 年生を対象として、作文、ポスター、書道の作品を募集するコンクールを実施しました。

応募作品は、第三者機関による公正な審査を経て優秀作品を選出し、入賞者には表彰式を開催 (平成 27 年 1 月 31 日 (土) 平塚市中央公民館) して表彰しました。

<作品応募・入賞数>

区分	作文	ポスター	書道	計	備考
応募数	111 (91)	932 (793)	4,002 (3,621)	5,045 (4,505)	参加学校数 : 181 (181) 参加市町数 : 21 (21)
入賞数	10 (10)	20 (20)	40 (40)	70 (70)	

(注) () は、前年度の実績数

ウ 下水道担当職員研修会の実施

県及び市町村の下水道事業を所管する担当職員を対象に、下水道に関する幅広い知識の修得を目的として、次の研修会を実施しました。

<下水道担当職員研修会実施状況>

研修会 コース名	開催年月日 (開催場所)	対象者 (受講者数)	研修概要
一般	平成 26 年 7 月 17 日 (扇町管理センター)	主に下水道担当 として経験 5 年 未満の職員 (73 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道法と関係法規 ・下水処理場の仕組みと水質管理 ・処理場施設見学
専門技術	平成 27 年 1 月 20 日 〔①東京都北多摩一号水再生 センター ②小平市ふれあい下水道館〕	主に下水道担当 として経験 5 年 以上の職員 (24 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道技術実習セン ター内の施設 (モデル) を使用しての体験 研修
管理者	平成 26 年 12 月 4 日 (四之宮管理センター)	主に幹部職員 (44 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理について (危機管理から学 ぶ職員の立ち位置) ・調査研究発表

エ 下水道教室の実施

(ア) 下水道出張教室

公社職員が流域関連市町の小学校へ出向き、小学 4 年生の授業の中で、下水道の果たす役割や下水道の仕組みなどを説明すると共に、子供達が顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察する「下水道出張教室」を実施しました。

<下水道出張教室実施結果>

学校数	クラス数	人数
21 校 (20 校)	51 クラス (50 クラス)	1,526 人 (1,586 人)

(注) () は、前年度の実績数

(イ) 夏休み下水道教室

流域関連市町に在住する方を対象として、下水処理場へ来ていただき、下水道の果たす役割や下水道の仕組みなどを説明すると共に、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察したり、水の汚れ具合を簡単に見分ける簡易的な水質実験を行い、実際に下水処理場施設を見学していただく「夏休み下水道教室」を実施しました。

<夏休み下水道教室実施結果>

流域	開催場所 (管理センター)	実施日	参加者数
相模川	四之宮	平成 26 年 8 月 21 日(木)	24 人 (-)
	柳 島	平成 26 年 8 月 24 日(日)	23 人 (60 人)
酒匂川	酒 匂	平成 26 年 8 月 2 日(土)	63 人 (50 人)

(注) () は、前年度の実績数

オ 市町主催の環境イベントへの参加

流域関連市町が主催する環境等に関するイベントに当公社が参加し、来場者に下水道の果たす役割や下水道の仕組みなどを説明すると共に、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察していただき、環境に対して下水道が果たす役割などについて PR しました。

<市町環境イベント参加結果>

主催	イベント名	開催日	イベント来場者数
伊勢原市	いせはら環境展	5 月 10 日	469 人 (約 18,000 人)
	いせはらストップ温暖化展	11 月 15 日	232 人 (約 2,000 人)
茅ヶ崎市	ちがさき環境フェア 2014	6 月 14 日	493 人 (約 2,000 人)
南足柄市	環境フェア	6 月 21 日 (6/18~20)	224 人 (1,159 人)
相模原市	さがみはら環境まつり	6 月 29 日	365 人 (約 3,000 人)
開成町	開成町環境防災フェア	7 月 26 日	148 人 (580 人)
秦野市	市民の日	11 月 3 日	328 人 (約 100,000 人)
寒川町	寒川町産業まつり	11 月 16 日	531 人 (約 33,000 人)
愛川町	環境フェスタ	11 月 23 日	309 人 (約 1,500 人)
松田町	まつだ産業まつり	11 月 24 日	273 人 (約 7,000 人)
合計 (5 市 4 町)			3,372 人 (約 169,000 人)

(注) ・ イベント来場者数の () は、主催者発表の人数

・ 前年度は、4 市 4 町で実施 2,907 人 (約 129,000 人)

(2) 汚水・汚泥処理技術調査研究事業

下水処理場施設の維持管理を行う上で発生する様々な技術的課題事例を捉え、下水道維持管理コストを縮減するノウハウや施設の改善策などに資するテーマについて調査研究を行いました。

研究成果については、調査研究報告書を作成し、様々な場で発表しました。

ア 調査研究実施概要

平成 26 年度に行った調査研究のうち、次の 3 項目について研究報告をまとめました。

- ① 1,4-ジオキサンの事業場排出実態調査について
- ② 活性炭吸着塔への腐植質脱臭剤導入による脱臭剤交換費用の削減について
- ③ 寿町終末処理場の流域下水道編入に係る維持管理対応について
(寿町終末処理場汚泥圧送管撤去に伴う影響検証実験)

<調査研究結果の概要>

- ① 1,4-ジオキサンの事業場排出実態調査について

概要	結果
<p>平成 24 年 5 月「水質汚濁防止法」及び「下水道法」の規制項目に 1,4-ジオキサンが追加されました。</p> <p>この物質は、発がん性のリスクが指摘され、溶剤・原材料等として使用されています。</p> <p>また、生物処理では分解されず下水道終末処理場ではほとんど除去されません。</p> <p>そこで、流域下水道への流入実態を把握するため、流域関連市町の排水指導担当職員にヒヤリングを行い、排出状況を業種別に解析しました。</p> <p>また、相模川・酒匂川流域下水道 4 処理場の流入水についても調査しました。</p>	<p>対象となる 230 事業場を調査した結果、7 事業場から 1,4-ジオキサンが検出されたが、下水道法排水基準値以下でした。</p> <p>検出された事業場は、1,4-ジオキサンが含まれる有機合成反応溶剤等を使用している「繊維工業」、「化学工業」やその他の業種からも検出されました。</p> <p>また、相模川・酒匂川流域下水道 4 処理場の流入水からは検出されませんでした。</p>

② 活性炭吸着塔への腐植質脱臭剤導入による脱臭剤交換費用の削減について

概要	結果
<p>脱臭設備における脱臭剤は、一般的に活性炭を使用しているが、腐植質脱臭剤は、活性炭の代わりになる脱臭剤で、単価は高いものの臭気物質（特に硫化水素及びメチルメルカプタン）の吸着能力が活性炭よりも優れていることが分かっています。</p> <p>そこで、四之宮管理センターで硫化水素の発生が多い北系重力濃縮脱臭設備に腐植質脱臭剤を導入し、脱臭剤の交換周期及び経費削減効果について検討を行いました。</p>	<p>今回の調査で、従来は脱臭剤の交換頻度が1回/1年でしたが、2年間の使用が可能であることから、1回/2年に延命できることが分かりました。</p> <p>また、活性炭との交換費用を比較した場合、約20%の費用削減が確認されました。</p>

③ 寿町終末処理場の流域下水道編入に係る維持管理対応について
(寿町終末処理場汚泥圧送管撤去に伴う影響検証実験)

概要	結果
<p>小田原市寿町終末処理場（以下「寿町」という）の処理区域の下水は酒匂川流域下水道左岸処理場（以下「酒匂」という）に編入する計画です。</p> <p>現在、寿町の汚泥は設置した管渠内にある圧送管により酒匂へ送泥しています。</p> <p>今後、下水を管渠内に流入させる際に支障となる圧送管を撤去する必要があるため、撤去時は汚泥引抜きを長期間停止する必要があります。</p> <p>そこで、圧送管撤去時の維持管理対応や留意点等について、検証実験を行いました。</p>	<p>検証実験の結果から、送泥停止による影響を最小限にするため、両処理場の汚泥量（活性汚泥濃度）を適正な範囲で少なくしておくほか、臭気対策として、寿町で薬品の添加を実施することや圧送管撤去時は汚泥腐敗を避けるため冬期に実施すべきことが分かりました。</p> <p>また、撤去工事予定期間は20日間程度ですが、処理場運用では実験によりその間の送泥停止が可能であり、水処理（放流水質）には大きな影響が無いことが分かりました。</p>

イ 研究発表

(ア) 研究発表

平成 26 年度に行った調査研究発表は、次のとおりです。

<発表会：第 17 回県土整備技術発表会>

主 催	神奈川県県土整備局
実 施 日	平成 27 年 1 月 8 日
開 催 場 所	神奈川県庁本庁舎 3 階 大会議場 (横浜市中区)
発表テーマ	スクリーブレス脱水機の効率的な運用に関する検討

(イ) 研究報告書の作成・配布

調査研究報告書を関係機関に配布すると共に公社内情報提供コーナーに備え置き、また、公社ホームページにも掲載し、一般県民に情報提供しました。

<調査研究報告書>

名 称	調査研究報告書 (第 32 号)
作 成 部 数	110
主な配布先	県、流域関連市町、全国公社
掲 載 内 容	①汚泥処理返流水から発生する硫化水素による施設への影響について ②四之宮せせらぎの森における生態系の実態調査と管理手法について ③相模川汚泥貯留地浸出液の経年変化と下水道排水への管理手法について

<管理部門>

1 職員の状況

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

組 織	長の氏名	構 成 職 員 数					
		事務	土木	機械	電気	化学	計
総 務 部 長	若山 廣文					1	1
業 務 部 長	—						0
総 務 課 長	田代 秀行	6				2	8
企 画 課 長	(田代 秀行)	1	1		1		3
業 務 課 長	笠原 俊男		2	1	1	1	5
設 備 担 当 課 長	川端 国男			1			1
水 質 課 長	川島 由美子					8	8
四之宮管理センター所長	海野 淳			4	3	2	9
柳島管理センター所長	川原 俊彦		1	3	3	5	12
酒匂管理センター所長	今永 英二		2	1	1	2	6
酒匂管理センター 扇町駐在事務所長	渡辺 俊一			1	1	1	3
合 計		7	6	11	10	22	56

(注) 構成職員には非常勤職員を除く。

2 役員及び評議員の状況

ア 役員数

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
理 事 長	1	—	1
常 務 理 事	2	—	2
理 事	—	6	6
監 事	—	2	2
計	3	8	11

イ 評議員数

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
評 議 員	—	9	9

ウ 役員一覧表

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
理 事 長	藤 井 良 一	常 勤	
常 務 理 事	若 山 廣 文	〃	
〃	木 下 幸 夫	〃	
理 事	星 野 一 郎	非 常 勤	厚木市 河川みどり部長
〃	田 原 克 巳	〃	座間市 上下水道部長
〃	石 川 昇 一	〃	南足柄市 都市経済部長
〃	二 挺 木 敏 行	〃	大磯町 都市建設部長
〃	成 川 一	〃	二宮町 都市経済部長
〃	依 田 政 文	〃	山北町 上下水道課長
監 事	福 井 哲 也	〃	秦野市 下水道部下水道総務課長
〃	猪 鼻 久 義	〃	公 認 会 計 士

エ 評 議 員 一 覧 表

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
評 議 員	斉 藤 進	非 常 勤	産業能率大学 情報マネジメント学部教授
〃	石 川 智 康	〃	技術士(上下水道部門) 石川技術士設計事務所所長
〃	佐 藤 弘 之	〃	相模原市 都市建設局 土木部参事
〃	石 田 晃 一	〃	平塚市 土木部長
〃	大 野 速 雄	〃	小田原市 副市長
〃	塩 崎 威	〃	茅ヶ崎市 下水道河川部長
〃	萩 原 勝 治	〃	神奈川県 湘南地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	高 橋 克 幸	〃	神奈川県 県西地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	三 枝 薫	〃	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 下水道課長

3 理事会開催状況

<第1回理事会>

- 日 時 : 平成 26 年 6 月 10 日 (火)
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)
出席者数 : 理事 6 人 監事 2 人
議 事 : (第 1 号議案) 平成 25 年度事業報告書及び決算報告書について
(第 2 号議案) 役員に支給する報酬額について
(第 3 号議案) 評議員会の招集について
報告事項 : ・平成 25 年度第 3 回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行
状況報告
・平成 25 年度経営改善計画実績状況報告書

<第2回理事会>

- 日 時 : 平成 26 年 6 月 26 日 (木)
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)
出席者数 : 理事 9 人 監事 1 人
議 事 : (議案) 理事の役職等の選定について
報告事項 : ・平成 26 年度事業計画書及び収支予算書
・平成 25 年度事業報告書及び決算報告書
・平成 25 年度経営改善計画実績状況報告書
・第 5 期経営改善計画

<第3回理事会>

- 日 時 : 平成 27 年 3 月 24 日 (火)
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)
出席者数 : 理事 9 人 監事 2 人
議 事 : (第 1 号議案) 平成 27 年度事業計画書
(第 2 号議案) 平成 27 年度収支予算書
報告事項 : ・平成 26 年度第 2 回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行
状況報告
・専決処分事項の報告 (平成 26 年度収支補正予算書、規程の一部改
正)

4 評議員会開催状況

<第1回評議員会>

- 日 時 : 平成 26 年 6 月 26 日 (木)
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)
出席者数 : 評議員 7 人 理事 3 人 監事 1 人
議 事 : (第 1 号議案) 平成 25 年度決算書類について
(第 2 号議案) 理事及び監事の選任について
報告事項 : ・平成 25 年度事業報告書
・平成 25 年度収支補正予算書
・平成 26 年度事業計画書及び収支予算書
・平成 25 年度経営改善計画実績状況報告書
・第 5 期経営改善計画

5 情報公開

当公社は、四之宮管理センターに「情報提供コーナー」を設置し、以下に記載する各種公社情報について県民の自由閲覧に供しています。

<各種の公社情報 (主な提供資料) >

- ・定款
- ・役員及び評議員名簿
- ・役員及び職員名簿
- ・事業報告書
- ・事業計画及び収支予算書
- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録
- ・収支計算書
- ・監査報告書
- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程
- ・経営改善計画
- ・各種パンフレット類
- ・その他下水道に関する情報誌 等

事業報告の附属明細書

公益財団法人神奈川県下水道公社定款第 10 条第 1 項第 2 号に規定する事業報告の内容を補足する重要事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に事業内容を細部にわたり記載しているため作成しておりません。